

## 驚異的な拡大を続けるMOOC

## 日本初、JMOOC来年4月配信開始！

## 質の高い学習教材を誰でも無料で利用できる

このところムーク（MOOC・公開オンライン講座）が国内外で話題を呼んでいる。

ムークは主に大学や企業がウェブサイトで公開する無料講義で、誰もが受講できる。

単なるネットによる通信教育ではなく、最先端の研究者による講義が受けられる点がムークの特徴。人工知能学者のセバスチャン・スラン教授の「ユダシテイ」、ハーバード大学とマサチューセッツ工科大学が共同で設立した「エデックス」、そして2人の元スタンフォード大学教授がはじめた「コーセラ」などが代表例だ。受講料は無料で、コンピュータとインターネット

ト接続さえあれば、世界中のどこからでも受講できる。

ユダシテイやエデックスなど、当初はコンピュータや数学など理系の講座が主流だったが、今はコーセラを筆頭に、人文系のコースも多数公開されている。



コーセラのビデオ講義画面の一例。すでに英語の字幕がついた講義も多い。字幕制作ソフトがあり、他言語の字幕をつけるボランティアも募集している

コーセラは世界有力大学約90校の約460講義を揃え、

アート、歴史、ビジネス、健康・医療、環境、音楽、科学、コンピュータなど幅広い分野の講座を公開し、世界中に500万人を超える利用登録者がある。日本の東京大学やスペイン、メキシコ、フランス、スイス、台湾、香港、ローマの大学も参加し、それぞれの母国語で講座を公開、インターナショナルな展開を見せている。

Eメールとパスワードの設定だけで、登録には5分もかからない。教え方は講師によって違うが、すぐにコンピュータでビデオを見るだけの

受身のオンライン講座とは違う。何万人もの受講生がいるため、講師と1対1の対話はできないが、受講生らがオンライン・フォーラムに積極的に書き込みをする。開講直後から書き込みが昼夜を問わずどんどん入ってくるのを見ると、一瞬にして世界中に様々なクラスメートができたように、不思議な気分がするという。

ムークに対する社会的認知度は着実に高まっている。大学や自治体側でもこうしたオンライン講座を正規の単位として認める動きも始めている。米国教育協議会はコーセラで公開する講座の中で、生体電気学、遺伝子進化入門、微分・積分などの4講座について、修了すれば大学の単位取得に相当するレベルだとの見解を示した。

また、受講者同士がオンライン上での勉強グループをつくったり、ビデオ・ミーティ